

令和4年度吉川市下水道事業会計決算概要

1 業務量

区 分	R4年度	R3年度	比較	
			増減	増減率
水洗化世帯数	25,507 世帯	25,184 世帯	323 世帯	1.3%
年間総排水量	6,278,612 m ³	6,577,531 m ³	△298,919 m ³	△ 4.5%
1日平均排水量	17,202 m ³	18,021 m ³	△819 m ³	△ 4.5%

主な建設改良事業

(単位：円)

区 分	R4年度	R3年度	比較	
			増減	増減率
管渠事業	311,370,349	386,599,732	△ 75,229,383	△ 19.5%
ポンプ場事業	102,545,664	143,734,174	△ 41,188,510	△ 28.7%

令和4年度の業務量は、

- (1) 水洗化世帯数は、25,507世帯で、前年度に比べ323世帯（1.3%）増加しました。
- (2) 年間総排水量は、6,278,612 m³で、前年度に比べ298,919 m³（△4.5%）減少しました。
- (3) 1日平均排水量は、17,202 m³で、前年度に比べ819 m³（△4.5%）減少しました。
- (4) 主な建設改良事業につきましては、管渠事業3億1137万349円となり、前年度に比べ7522万9383円（△19.5%）減額となりました。
また、ポンプ場事業は1億254万5664円となり、前年度に比べ4118万8510円（△28.7%）減額となりました。

2 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入

(単位：円)

項目	R 4 年度	R 3 年度	対前年比較	
			増減	比率 (%)
1 営業収益	914,671,329	897,020,939	17,650,390	2.0
下水道使用料	714,449,417	715,135,674	△ 686,257	△ 0.1
雨水処理負担金	199,238,000	181,194,000	18,044,000	10.0
受託事業収益	718,082	566,915	151,167	26.7
その他営業収益	265,830	124,350	141,480	113.8
2 営業外収益	627,066,588	627,179,280	△ 112,692	△ 0.0
受取利息	3,062	1,435	1,627	113.4
他会計負担金	15,085,000	17,401,000	△ 2,316,000	△ 13.3
長期前受金戻入	611,854,540	608,700,474	3,154,066	0.5
消費税及び地方消費税還付金	0	1,040,345	△1,040,345	皆減
雑収益	123,986	36,026	87,960	244.2
3 特別利益	1,362,515	118,605	1,243,910	1048.8
過年度損益修正益	1,362,515	94,413	1,268,102	1343.1
その他特別利益	0	24,192	△ 24,192	皆減
事業収益 計	1,543,100,432	1,524,318,824	18,781,608	1.2

下水道事業収益は、15億4310万432円となり、前年度に比べ1878万1608円（1.2%）増額となりました。

営業収益 ・ ・ 前年度に比べ1765万390円（2.0%）増額

【下水道使用料】

下水道使用料は、7億1444万9417円となり、前年度に比べ68万6257円（△0.1%）の減額となりました。新型コロナウイルスの鎮静化により、在宅時間が短くなり、水道使用量が減少したことによるものと思われます。

【雨水処理負担金】

雨水処理負担金は、雨水処理に要する経費について一般会計が負担するもので、1億9923万8000円となり、前年度に比べ1804万4000円（10.0%）増額となりました。

【受託事業収益】

受託事業費負担金は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の経費について松伏町が負担する分及び高久ポンプ場に接続されている県の水門の点検の経費について県が負担するもので、71万8082円となり、前年度と比べ15万1167円（26.7%）増額となりました。

【その他営業収益】

その他営業収益は、26万5830円となり、前年度に比べて14万1480円（113.8%）の増額となっております。令和4年度は5年に1度の排水設備責任技術者の更新年で、手数料収入が多かったため増額となりました。

営業外収益 ・前年度に比べて11万2692円（△0.0%）減額

営業外収益は、6億2706万6588円となり、前年度に比べ11万2692円（△0.0%）減額となりました。主なものは、長期前受金戻入が6億1185万4540円で、前年度と比べて、315万4066円（0.5%）の増額となりました。

特別利益 ・前年度に比べて124万3910円（1048.8%）増額

特別利益は、136万2515円となり、前年度に比べて124万3910円（1048.8%）増額となりました。主なものは、一般会計からの負担金である令和3年度雨水処理負担金不足分が131万1912円となっております。

(2) 収益的支出

（単位：円）

項目	R4年度	R3年度	対前年比較	
			金額	比率
営業費用	1,292,086,465	1,275,410,443	16,676,022	1.3
管渠費	27,551,561	21,595,426	5,956,135	27.6
ポンプ場費	63,069,112	60,160,051	2,909,061	4.8
流域下水道費	253,192,480	265,036,404	△11,843,924	△4.5
受託事業費	409,642	451,133	△41,491	△9.2
業務費	55,428,172	48,342,111	7,086,061	14.7
総係費	37,459,088	35,999,305	1,459,783	4.1
減価償却費	854,976,410	841,594,561	13,381,849	1.6
資産減耗費	0	2,231,452	△2,231,452	皆減
営業外費用	74,350,977	73,030,753	1,320,224	1.8
支払利息及び企業債取扱諸費	66,103,277	73,030,753	△6,927,476	△9.5
消費税及び地方消費税	8,247,700	0	8,247,700	皆増
特別損失	6,029,512	14,658,939	△8,629,427	△58.9
過年度損益修正損	6,029,512	14,658,939	△8,629,427	△58.9
事業費用 計	1,372,466,954	1,363,100,135	9,366,819	0.7

下水道事業費用は、13億7246万6954円となり、前年度に比べ936万6819円（0.7%）増額となりました。

営業費用

・前年度に比べ1667万6022円（1.3%）増額

【管渠費】

管渠費は、2755万1561円となり、前年度に比べて595万6135円（27.6%）の増額となりました。主なものとして、雨水幹線の除草等、雨水管渠施設の維持管理に係る委託料が1019万7000円となっております。

【ポンプ場費】

ポンプ場費は、6306万9112円となり、前年度に比べて290万9061円（4.8%）の増額となりました。主なものとして、ポンプ場の施設管理に係る委託料が4010万7084円となっております。

【流域下水道費】

流域下水道費は、2億5319万2480円となり、前年度に比べて1184万3924円（△4.5%）の減額となりました。主なものとして、汚水処理のための県への負担金が2億5114万4480円となっております。

【受託事業費】

受託事業費は、40万9642円となり、前年度に比べて4万1491円（△9.2%）の減額となりました。内容は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の維持管理の経費です。

【業務費】

業務費は、5542万8172円となり、前年度に比べて708万6061円（14.7%）の増額となりました。主なものとしては、吉川市水道事業へ委託している下水道使用料徴収委託料が4921万5100円となっております。

【総係費】

総係費は、3745万9088円となり、前年度に比べて145万9783円（4.1%）の増額となりました。主なものとして、庁舎、公用車及びOA機器などの下水道事業使用分として一般会計に対する負担金が640万2500円となっております。

【減価償却費】

減価償却費は、8億5497万6410円となり、前年度に比べ1338万1849円（1.6%）の増額となりました。

営業外費用・・・前年度に比べ132万224円（1.8%）増額

営業外費用は、7435万977円となり、前年度に比べ132万224円（1.8%）の増額となりました。主なものとしては、企業債等支払利息が6610万3277円となっております。

特別損失・・・前年度に比べ862万9427円（△58.9%）減額

特別損失は、602万9512円となり、前年度と比べて862万9427円（△58.9%）の減額となりました。主なものとしては、令和3年度一般会計負担金精算分が602万7752円となっております。

3 資本的収入及び支出**(1) 資本的収入**

(単位 円)

	R 4 年度	R 3 年度	対前年比較	
			金額	比率(%)
1 企業債	444,200,000	484,000,000	△ 39,800,000	△ 8.2%
建設改良費等に充てるための企業債	249,800,000	282,400,000	△ 32,600,000	△ 11.5%
流域下水道事業債	26,300,000	29,700,000	△ 3,400,000	△ 11.4%
資本費平準化債	168,100,000	171,900,000	△ 3,800,000	△ 2.2%
2 他会計出資金	77,419,000	81,325,000	△ 3,906,000	△ 4.8%
一般会計出資金	77,419,000	81,325,000	△ 3,906,000	△ 4.8%
3 国庫補助金	130,038,000	210,794,000	△ 80,756,000	△ 38.3%
国庫補助金	130,038,000	210,794,000	△ 80,756,000	△ 38.3%
4 負担金	15,480,546	14,387,000	1,093,546	7.6%
一般会計負担金	15,362,846	14,387,000	975,846	6.8%
受益者負担金	117,700	0	117,700	皆増
5 その他資本的収入	2,791	4,085	△ 1,294	△ 31.7%
その他資本的収入	2,791	4,085	△ 1,294	△ 31.7%
資本的収入計	667,140,337	790,510,085	△ 123,369,748	△ 15.6%

資本的収入は、6億6714万337円で、前年度に比べ1億2336万9748円（△15.6%）の減額となりました。

企業債・・・前年度に比べ3980万円（△8.2%）減額

企業債は4億4420万円で、前年度と比べて3980万円（△8.2%）の減額となりました。

他会計出資金・・・前年度に比べ390万6000円（△4.8%）減額

他会計出資金は、7741万9000円で、前年度に比べ390万6000円（△

4.8%)の減額となりました。これは、総務省の基準により一般会計で負担すべき企業債償還金分です。

国庫補助金

・前年度に比べ8075万6000円(△38.3%)減額

国庫補助金は、1億3003万8000円で、前年度と比べて8075万6000円(△38.3%)の減額となりました。内訳は、吉川美南駅東口における污水管布設工事において7062万2000円と雨水管布設工事において5941万6000円をそれぞれ充当しております。

負担金

・前年度に比べ109万3546円(7.6%)増額

負担金は、1548万546円となり、前年度に比べて109万3546円(7.6%)の増額となりました。主なものといたしましては、資本的支出に係る人件費の一般会計負担金が1536万2846円となっております。

その他資本的収入

・前年度に比べて1294円(△31.7%)減額

その他資本的収入は、2791円となり、前年度に比べて1294円(△31.7%)の減額となりました。これは、令和3年度資本的支出における地方公務員災害補償基金負担金の還付を令和4年度において受けたものです。

(2) 資本的支出

(単位:円)

	R4年度	R3年度	対前年比較	
			増減	比率(%)
1 建設改良費	455,166,244	584,666,060	△ 129,499,816	△ 22.1
管渠費	311,370,349	386,599,732	△ 75,229,383	△ 19.5
ポンプ場費	102,545,664	143,734,174	△ 41,188,510	△ 28.7
流域下水道費	26,418,003	29,775,149	△ 3,357,146	△ 11.3
業務費	14,832,228	24,557,005	△ 9,724,777	△ 39.6
2 企業債償還金	442,488,094	434,598,384	7,889,710	1.8
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	359,523,571	358,030,449	1,493,122	0.4
流域下水道事業債	52,823,221	54,729,311	△ 1,906,090	△ 3.5
資本費平準化債	30,141,302	21,838,624	8,302,678	38.0
3 固定資産購入費	41,936	164,739	△ 122,803	△ 74.5
固定資産購入費	41,936	164,739	△ 122,803	△ 74.5
資本的支出	897,696,274	1,019,429,183	△ 121,732,909	△ 11.9

資本的支出は、8億9769万6274円で、前年度に比べ1億2173万2909円(△11.9%)の減額となりました。

建設改良費・・・前年度に比べ1億2949万9816円(△22.1%)
の減額

建設改良費は、4億5516万6244円となり、前年度に比べ、1億2949万9816円(△22.1%)の減額となりました。

【管渠費】

管渠費は3億1137万349円となり、前年度と比べて7522万9383円(△19.5%)の減額となりました。主なものといたしましては、吉川美南駅東口周辺地区における污水管布設工事1億3737万4300円、同地区内の雨水管布設工事が1億1561万3200円となっております。

【ポンプ場費】

ポンプ場は1億254万5664円となり、前年度と比べて4118万8510円(△28.7%)の減額となりました。主なものといたしましては、高久雨水ポンプ場機械設備工事が4389万円、高久雨水ポンプ場ポンプ改修工事が2442万円、となっております。

【流域下水道費】

流域下水道費は、2641万8003円となり、前年度と比べて335万7146円(△11.3%)の減額となりました。内容といたしましては、埼玉県流域下水道施設建設に対する負担金となっております。

【業務費】

業務費は1483万2228円となり、前年度と比べて972万4777円(△39.6%)の減額となりました。内容といたしましては、取付管や公共ます等の污水排水設備工事費となっております。

企業債償還金・・・前年度に比べ788万9710円(1.8%)増額

企業債償還金は、4億4248万8094円となり、前年度に比べ788万9710円(1.8%)の増額となりました。

固定資産購入費・・・前年度に比べて12万2803円(△74.5%)減額

固定資産購入費は、4万1936円となり、前年度に比べて12万2803円(△74.5%)の減額となりました。内容としては、土木積算システムソフトウェア購入費となっております。

【補填財源】・・・前年度と比べ163万6839円(0.7%)増加

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は2億3055万5937円となり、前年度に比べ163万6839円(0.7%)増加しております。

この不足額については、下記の資金で補填します。

	金額	説明
当年度分消費税資本的 収支調整額	28,120,576 円	資本的支出のうち、課税支出に属する仮 払い消費税の額
減債積立金	124,329,818 円	前年度末までに利益剰余金から企業債 償還のために積み立てた積立金
過年度分損益勘定留保 資金	78,105,543 円	前年度までの減価償却費から長期前受 金戻入を差し引いた額

4 主な事業

(1) 清潔で快適な生活環境の確保

★ 水洗化率の向上

公共下水道処理区域内の未接続建物所有者に対し、接続していただくため、通知による接続依頼のほか、広報誌へ記事の掲載をしました。

(2) 効率的な施設整備

★ 管渠建設改良事業

○ 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に伴う管渠布設工事

- ・ 汚水管布設工事費：L＝762.10m 1億3737万4300円
- ・ 雨水管布設工事費：L＝740.52m 1億1561万3200円

★ ポンプ場設備更新事業

ポンプ場の設備の老朽化に伴い、実施した主な事業は下記のとおりです。

- ・ 高久雨水ポンプ場機械設備改修工事 4389万円
- ・ 高久雨水ポンプ場ポンプ改修工事 2442万円
- ・ 吉川中央第1調整池No.1排水ポンプ改修工事 2112万円

★ 設備の適正な維持管理

設備を適正に維持するとともに長寿命化を図るため、設備の維持水準や優先度を考慮し、修繕等により設備の適正な維持管理を実施しました。

- ・ マンホール周辺舗装補修及び鉄蓋交換工事 1194万9300円
- ・ 管渠内清掃業務委託等 210万7600円
- ・ 管渠内調査業務委託 396万円

(3) 効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される下水道をめざすためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であり、効率的な事業運営の推進に努めます。

★ 事務の効率化

○ 下水道台帳の電子化を行い事務の効率化を図り、毎年度データの更新を行いました。

- ・ 下水道台帳整備委託料 269万5000円
- ・ 資産管理台帳システム保守業務委託料 74万2500円

5 下水道事業経営指標

項目	分析結果		指標説明
	R 4 年度	R 3 年度	
経常収支比率	111.1%	110.5%	当該年度において、料金収入等で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。
累積欠損金比率	0.0%	0.0%	営業活動で生じた損失を補てんできず、複数年にわたって累積した欠損金の状況を表す指標。0%であることが求められる。
流動比率	113.7%	82.0%	短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
企業債残高 対事業規模比率	686.4%	674.3%	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。
経費回収率	134.8%	140.6%	下水道使用料で回収すべき経費（污水处理費）を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。
污水处理原価	81.4 円	77.5 円	有収水量 1 m ³ あたりの污水处理に要した費用。
污水处理単価比率	134.8%	140.6%	使用料単価と有収水量に基づく污水处理単価とを対比した指標。利益を出すためには 100%以上である必要がある。
水洗化率	97.1%	96.9%	処理区域内人口のうち、実際に下水道を接続して污水处理している人口の割合を表した指標。
有形固定資産 減価償却率	11.4%	8.6%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるか表す指標。
管渠老朽化率	0.0%	0.0%	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標。管渠の老朽化度合いを示している。吉川市においては法定耐用年数を超えた管渠はない。
管渠改善率	0.0%	0.0%	当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標。